

奈良県立病院機構 平成28年度上半期実績

(総合医療センター)

(単位:百万円)

	H28予算	H28上半期実績		
		執行額(4~9月)	前年同期(H27.4~9)	前年同期比
医業収益	12,346	5,910	5,346	564
入院収益	9,150	4,139	3,823	317
外来収益	2,929	1,662	1,418	244
医業費用	13,402	6,683	6,182	501
給与費	7,361	3,725	3,395	329
材料費	3,595	1,846	1,555	291
経費	1,821	793	880	▲ 86
減価償却費	576	292	330	▲ 38
医業収支	▲ 1,056	▲ 773	▲ 835	62
県運営費負担金	926	463	440	24
その他の収益	161	44	100	▲ 56
経常収益計	13,434	6,417	5,886	531
償還利息計	13	7	0	7
その他の費用	102	10	0	10
経常費用計	13,517	6,700	6,182	518
経常利益・損失	▲ 83	▲ 282	▲ 296	13

臨時利益・損失	▲ 455	▲ 215	▲ 223	8
収益計	13,434	6,417	5,886	531
支出計	13,973	6,914	6,405	510
当期純損失	▲ 539	▲ 497	▲ 519	22

【前年同期との比較・現状認識・課題】

- ・医業収益は5億6千4百万円増加、医業費用は5億1百万円増加し、医業収支では6千2百万円の収支改善。
- ・経常利益・損失は、1千3百万円の改善
- ・給与費は、新病院の開設に向けて人員を増加させていることもあり3億2千9百万円増加
- ・材料費は高額医薬費(オプジーボ等)の使用により2億9千1百万円増加
- ・医業収益の収益増加分よりも人件費、材料費の費用増加が大きく、投資以上に収入を伸ばせていないのが現状
- ・H27年度に比べ、外来・入院単価は全て上昇。
- ・救急受入台数は、H27年7月に開始したER救急の効果が現れ322台増加(㉗1,495台→㉘1,817台)
- ・病床数は、4床増床(㉗384床→㉘388床)。H28年10月より4床増床し、392床で運用開始するなどさらなる収益増加に向けて取組中。
- ・病床稼働率は、増床したにも拘わらず1.9%の上昇(㉗85.6%→㉘87.5%)。
- ・新病院開院に向けて段階的な人材確保、体制整備は図りつつ、経常損失の解消に向けた収益向上策の検討実施、材料費削減の実施を推進していく必要がある